

概説部会 進捗状況 (平成31.4.19現在)

(部会)

部会開催日	議事
第1回：平成30年7月12日	(1) 部会員の追加について (2) その他
第2回：平成30年10月4日	(1) これまでの経過 (2) 概説の体裁についての検討 (3) 委員の分担について (4) その他
第3回：平成30年11月22日	(1) 概説の編集方針についての検討 (2) 委員の分担について (3) その他
①第1回：平成31年4月4日	(1) 概説の編集方針についての検討 (2) 委員の分担について (3) その他

(部会委員調査実績)

・なし

平成30年度第1回概説部会開催結果概要

1. 日 時：平成30年7月12日（木）11:45～12:00
2. 場 所：北海道庁赤れんが庁舎 文書館打合せ室
3. 出席者：（委員）桑原部会長、平野専門委員、谷本専門委員
（事務局）齋原室長、中谷主幹、伊藤主査、山本主事

4 概 要

【開 会】

【部会長挨拶】（桑原部会長）

【議 事】

（1）部会員の追加について

- ・谷本委員から概説部会の追加委員について2名の推薦があった。
- ・桑原部会長からは1名の推薦があった。

（2）その他

- ・谷本委員は本年10月から1年間、内地留学に入るが、兼業承認を受け、留学期間中も委員の仕事が可能となった。
- ・次回の開催時期については、委員から推薦のあった候補者の任命の事務手続き後の、9月上旬を予定。

【閉 会】

平成30年度第2回概説部会開催結果概要

- 1 日時：平成30年10月4日（木）9:52～11:05
- 2 場所：北海道庁赤れんが庁舎 文書館打合せ室
- 3 出席者：（委員）桑原部会長、平野専門委員、谷本専門委員、榎本調査研究委員、川上調査研究委員、葦島調査研究委員
（事務局）靄原室長、中谷主幹、伊藤主査、山本主事

4 概要

【開会】

【議事】

(1) これまでの経過

- ・ 概説部会（ワーキング）の開催結果、「概説」について寄せられた意見・要望、道史編さん大綱・「北海道史編さん委員会道史編さん計画」の概要について資料に基づき確認。

(2) 概説の体裁についての検討

- ・ 「概説」の参考事例について資料に基づき事務局から説明。
- ・ 「概説」のあり方について意見交換し、次回も継続して協議することを確認。

(3) 委員の分担について

- ・ 実際の作業の際は、①前近代のグループと②近現代のグループに分かれること、考古分野からの参画も必要であることを確認。

(4) その他

- ・ 事務局から、調査要綱及び道公文書閲覧要綱、今後のスケジュール、組織並びに編さんスケジュール（案）について資料に基づき説明。

【閉会】

- ・ 次回は平成30年11月22日（木）10:00～の予定。

平成30年度第3回概説部会開催結果概要

- 1 日時：平成30年11月22日（木）9:58～11:02
- 2 場所：北海道庁赤れんが庁舎 文書館打合せ室
- 3 出席者：（委員）桑原部会長、平野専門委員、谷本専門委員、榎本調査研究委員、川上調査研究委員、蕨島調査研究委員
（事務局）霧原室長、中谷主幹、伊藤主査

4 概要

【開会】

- ・部会長挨拶

【議事】

(1) 概説の編集方針についての検討

- ・資料1に対し、各委員から意見を発表。討議の結果、編集方針の大枠として「通史型」を取ることに決定。

(2) 委員の分担について

- ・委員を2つのグループに分けることとし、前近代史小部会（原始・古代、中世・近世史）のメンバーは谷本専門委員、川上調査研究委員、蕨島調査研究委員とし小部会長に谷本専門委員を指名。近現代史小部会（近代・現代史）は桑原部会長（兼小部会長）、平野専門委員、榎本調査研究委員とした。

(3) その他

- ・考古学分野その他からの参画者については次回まで検討することとした。
- ・近現代史分野においても若手を参画させるべきとの提案あり。

【閉会】

- ・次回は新年度6月予定の道史編さん委員会の前までに具体的方針を検討する予定。

平成31年度第1回概説部会開催結果概要

- 1 日 時：平成31年4月4日（木）14:55～15:45
- 2 場 所：北海道庁赤れんが庁舎 文書館打合せ室
- 3 出席者：（委 員）桑原部会長、平野専門委員、谷本専門委員、榎本調査研究委員、川上調査研究委員、養島調査研究委員
（事務局）靄原室長、中谷主幹、伊藤主査

4 概 要

【開 会】

- ・部会長挨拶

【議 事】

（1）概説の編集方針についての検討

- ・ 「概説」の誌名については、「北海道史クロニクル」を候補とすることとした。
- ・ 「概説」の分量については、各小部会1冊ずつの計2冊を希望することとした。
- ・ 「概説」の叙述については、道民一般を対象とすることとした。

（2）委員の分担について

- ・ 前近代史小部会のメンバーに調査研究委員1名と調査研究協力委員2名、近現代史小部会のメンバーに西田委員と調査研究協力委員2名の推薦があった。
- ・ 近現代史小部会には小川調査研究委員にも所属していただくこととした。

（3）その他

- ・ 次回は北海道史編さん委員会終了後の7月頃に開催の予定とした。

【閉 会】

政治・行政部会進捗状況（平成31.4.19現在）

（部会）

- ・開催なし
- ・随時事務局と打合せ

（部会委員調査実績）

施設名等	延回数
道立文書館	4回
道政関係インタビュー	12回
計	16回

産業・経済部会進捗状況（平成31.4.19現在）

(部会)

部会開催日	議事
第1回：平成30年8月30日	(1) 道史編さん体制について (2) 編さんスケジュールについて (3) 資料編のスタイルについて (4) 資料調査の進め方について (5) 道新記事見出しの採取について (6) 各委員担当部分の構成・課題について (7) 産業・経済編（資料編）の全体構成案について (8) 今後の取組みについて (9) その他
第2回：平成30年11月5日	(1) 坂下部会長報告 「資料編作成の考え方について －農業部門を例として－」 (2) 今後の予定 (3) その他
第3回：平成31年1月17日	(1) 奥田委員報告 「産業・経済『資料』の扱いにつ いての試案」 (2) 満園委員報告 「商業部門における研究作業開始 の状況」 (3) その他
第4回：平成31年3月27日	(1) 青木委員報告 「『新北海道史』第6巻から42年－ 第6次石炭政策（1976年）以降の石炭産業－」 (2) 今後の予定について (3) その他

(部会委員調査実績)

施設名等	延回数
札幌市公文書館	1回
道史編さん室	4回
小樽商工会議所	4回
北海道農業機械工業会	1回
JR北海道	2回
じょうてつ	1回
北海道林業会館	1回
北海道信用金庫協会	1回
建新総研（北海道建設新聞）	1回
すすきの観光協会	1回
サービス業関係インタビュー	2回
札幌ホテル旅館共同組合	1回
札幌商工会議所	1回
コープさっぽろ	1回
連合北海道	1回
計	23回

平成30年度第1回産業・経済部会開催結果概要

- 1 日時：平成30年8月30日（木）13:30～16:45
- 2 場所：北海道庁別館西棟4階 会議室7
- 3 出席者：（委員）坂下部会長、奥田委員、青木委員、板垣委員、市川委員、柿澤委員、小坂委員、小田委員、佐藤委員、東山委員、満菌委員
（事務局）薮原室長、中谷主幹、伊藤主査

4 概要

【開会】

【部会長挨拶】

【各委員自己紹介】

【事務局紹介】

【議事】

- (1) 道史編さん体制について
 - ・ 道史編さん組織について資料に基づき確認。
- (2) 編さんスケジュールについて
 - ・ 編さんスケジュールについて資料に基づき確認。
- (3) 資料編のスタイルについて
 - ・ 資料編のモデルとすることになっている「山口県史」資料編の構成例を資料に基づき確認。
- (4) 資料調査の進め方について
 - ・ 事務局から、調査要綱及び道公文書閲覧要綱について説明。
- (5) 道新記事見出しの採取について
 - ・ 事務局から、現在手がけている道新の見出しの採取基準について説明。
- (6) 各委員担当部分の構成・課題について
 - ・ 各委員から、各自の担当分野の構成・課題について説明。
- (7) 産業・経済編（資料編）の全体構成案について
 - ・ 資料掲載数や頁数の各自の大まかな分量を確認。
 - ・ 委員の補充が必要な分野及び推薦する委員候補について確認。
- (8) 今後の取組みについて
 - ・ 部会長から今後の取組について提案。
- (9) その他
 - ・ なし

【閉会】

平成30年度第2回産業・経済部会開催結果概要

- 1 日 時：平成30年11月5日（月）10：00～12：15
- 2 場 所：北海道庁本庁舎5階共用会議室
- 3 出席者：（委員）坂下部長、奥田委員、青木委員、板垣委員、柿澤委員、小坂委員、小田委員、佐藤委員、東山委員、満菌委員
（事務局）鶴原室長、中谷主幹、伊藤主査、山本主事
- 4 概要
 - 【開会】
 - 【部会長挨拶】（坂下部長）
 - 【議事】
 - （1）資料編作成の考え方について ー農業部門を例としてー
 - ・坂下部長から、レジュメ「北海道の農業開発の段階と序列性ー戦後段階の位置づけー」（資料1）に基づき、農業部門における時代区分、論点等について解説。
 - ・また、併せて「資料編対応年表」（資料2）による掲載資料の考え方や、掲載資料事例（資料3）について説明。
 - ・各委員から、資料編に掲載すべき資料の考え方（一次資料の優先、通史編叙述等との関連）及び統計の取扱について質疑・意見があり、今後さらに具体的事例を基に検討を進めることとした。
 - （2）今後の予定
 - ・年内を目途に第3回部会を開催し、今回と同様に他の委員からも構成等について報告。
 - （3）その他
 - ・事務局から、国立公文書館所蔵資料のうち、現地でまとめて複製収集すべきものがあれば知らせてほしい旨依頼。
 - 【閉会】

平成30年度第3回産業・経済部会開催結果概要

- 1 日時：平成31年1月17日（木）9：30～11：50
- 2 場所：北海道庁赤れんが庁舎2階2号会議室
- 3 出席者：（委員）坂下部会長、奥田委員、青木委員、板垣委員、市川委員、柿澤委員、小田委員、佐藤委員、韓委員、満菌委員、宮澤委員、宮田委員、小川委員
（事務局）薮原室長、中谷主幹、伊藤主査、山本主事

4 概要

【開会】

【部会長挨拶】（坂下部会長）

【議事】

（1）奥田委員報告 「産業・経済『資料』の扱いについての試案」

- ・ 奥田委員から、レジュメ「第2回産業経済部会の議論を受けた討論素材」（資料1）に基づき、
 - 資料編重視についての道史編さん大綱における考え方
 - 対象の時期範囲について
 - 基礎的統計・年表について
 - 北海道現代史の時期区分と概観についての試案を説明。
- ・ 事務局から、主な資料検索サイト」（資料2）について説明。
- ・ 各委員から、奥田委員説明の各項目について質疑・意見があった。

（2）満菌委員報告 「商業部門における研究作業開始の状況」

- ・ 満菌委員から、レジュメ「資料調査の方針と進捗状況について（商業）」（資料3）に基づき、
 - 資料調査を進めるにあたって
 - 商業部門の方針
 - 戦後日本流通史の捉え方
 - 資料調査の進捗状況及び今後の予定について説明。
- ・ 各委員から、満菌委員説明の各項目について質疑・意見があった。

（3）その他

- ・ 小川委員から、各巻におけるアイヌの歴史の取り上げ方について提案。
- ・ 年度内に第4回部会を開催する。

【閉会】

平成30年度第4回産業・経済部会開催結果概要

- 1 日 時：平成31年3月27日（水）14：30～17：15
- 2 場 所：北海道赤れんが庁舎1階5号会議室
- 3 出席者：（委員）坂下部長、奥田委員、青木委員、板垣委員、柿澤委員、小田委員、
佐藤委員、東山委員、満菌委員、宮澤委員
（事務局）鶴原室長、中谷主幹、伊藤主査、山本主事

4 概 要

【開会】

【部長挨拶】（坂下部長）

【議事】

（1）青木委員報告

『新北海道史』第6巻から42年

－第6次石炭政策（1976年）以降の石炭産業－

・青木委員から、資料1（レジュメ）に基づき、

①『新北海道史』（第6巻通説5）で対象とした石炭産業関連記述

②合理化の進行と石炭鉱業

③『新北海道史』以降の石炭産業記述に追補すべき範囲と内容

④「石炭産業（炭鉱）」資料の所蔵施設

について説明を行うとともに、

現在の資料調査の状況及び今後の調査予定について報告。

・各委員から、青木委員の説明について質疑・意見があった。

（2）今後の予定について

・今後も1～2ヶ月に1回程度部会を開催し、次回は小田委員が報告することに決定。5月7日・9日・10日のいずれかで今後日程を調整。

（3）その他

・事務局から、参考資料として各委員の担当分野ごとに抜粋した他県史の事例を近々発送する予定。

・事務局から、文書館及び道史編さん室の移転について説明。

【閉会】

教育小部会進捗状況（平成31.4.19現在）

（部会）

部会開催日	議事
第1回：平成30年8月7日	(1) 道史編さん体制と刊行計画 (2) 教育小部会の編さんスケジュール (3) 教育分野構成案と資料編のスタイル (4) 編さん作業の進め方について (5) 今後の予定 (6) その他
第2回：平成31年3月22日	(1) 教育分野構成案について (2) 教育分野資料編の各担当分量等について (3) 今後の予定について (4) その他

（部会委員調査実績）

施設名等	延回数
道立文書館	17回
道立図書館	1回
道立教育研究所	1回
道教育委員会	3回
道立特別支援教育センター	1回
計	23回

平成30年度第1回教育小部会開催結果概要

- 1 日 時：平成30年8月7日（火）10:00～12:00
- 2 場 所：北海道庁本庁舎 地下1階総合政策部会議室
- 3 出席者：（委員）横井小部会長、安宅委員、上原委員、大矢委員、川前委員、辻委員、
二井委員、牧野委員、三上委員、光本委員
（事務局）薮原室長、中谷主幹、伊藤主査

4 概要

【開会】

【小部会長挨拶】（横井小部会長）

【自己紹介】

【議事】

- (1) 道史編さん体制と刊行計画
 - ・道史編さん委員会の組織、道史の構成、全体の編さんスケジュールについて確認。
- (2) 教育小部会の編さんスケジュール
 - ・資料編の各担当部分の構成案を、2019年3月までに各自作成して提出することとする。
 - ・資料編（社会・教育・文化）が2023年度に刊行予定であることから、執筆作業のスケジュールについて確認。
 - ・資料編は、通史編を念頭において作成する必要があることを確認。
 - ・小部会の開催は、年1～2回程度を予定。当面は各自の資料調査が主となるが、資料選定の進行状況をみながら開催時期を決定する。
- (3) 教育分野構成案と資料編のスタイル
 - ・企画編集部会で資料編のモデルとすることになった「山口県史」資料編の構成例を紹介し、資料掲載数や頁数など教育分野に割り当てられる分量を確認。
 - ・小部会長の教育分野構成案を基に、各委員の担当項目を調整。
- (4) 編さん作業の進め方について
 - ・事務局から、現在手がけている道新の見出しの採取と基準について説明。
 - ・事務局から、調査関係の規定について説明。
- (5) 今後の予定
 - ・次回は来年3月に小部会の開催を予定。その際に、各自で構成案を提出する。
- (6) その他
 - ・特になし。

【閉会】

平成30年度第2回教育小部会開催結果概要

- 1 日時：平成31年3月22日（金）13：30～16：50
- 2 場所：北海道赤れんが庁舎1階5号会議室
- 3 出席者：（委員）横井小部会長、安宅委員、稲井委員、上原委員、大矢委員、辻委員、辻村委員、二井委員、牧野委員、三上委員、光本委員
（オブザーバー）坂本紀子氏
（事務局）鶴原室長、中谷主幹、伊藤主査

4 概要

【開会】

【部会長挨拶】（横井小部会長）

【議事】

（1）教育分野構成案について

- ・各委員から、自分が担当する分野の構成案とその大まかな内容、及び資料調査の進捗状況について報告。
- ・委員間で重複する項目の分担や追加項目について調整。

（2）教育分野資料編の各担当分量等について

- ・小部会長から教育分野の資料編の分量の考え方及び次回小部会までにたたき台を作成する旨の説明があった。

（3）今後の予定について

- ・小部会長から、今後、2019年8～9月、12月、3月、2020年6月頃の開催を考えており、今年の中頃までには資料調査を3分の1程度は進めてほしい旨を各委員に依頼。
- ・2020年6月を目途に資料調査を終え資料を集約することを確認。

（4）その他

- ・オブザーバーの坂本紀子氏から、戦後開拓期の教育やへき地での教育実践など北海道の特長が出ているような教育史にしてほしいとの提言があった。
- ・事務局から、新聞記事の見出し採取の進捗状況、資料調査の状況、文書館及び道史編さん室の移転について説明。
- ・事務局からのメールの送信方法について要望があった。

【閉会】

社会・文化小部会進捗状況（平成31.4.19現在）

（部会）

部会開催日	議事
第1回：平成30年8月16日	(1) 道史編さん体制と刊行計画 (2) 社会・文化小部会の編さんスケジュール (3) 分野構成案と資料編のスタイル (4) 編さん作業の進め方について (5) 今後の予定
第2回：平成31年3月13日	(1) 各委員の進捗状況報告と今後の調査の進め方について (2) 今後のスケジュールについて (3) その他

（部会委員調査実績）

施設名等	延回数
道立文書館	5回
道立図書館	1回
道立文学館	4回
コープさっぽろ	1回
生活クラブ生協北海道	3回
北海道ワーカーズコレクティブ	1回
北海道グリーンファンド	1回
札幌弁護士会	1回
日本野鳥の会	1回
北海道医療新聞社	5回
北海道医師会	1回
計	24回

平成30年度第1回社会・文化小部会開催結果概要

1 日 時：平成30年8月16日（木）10:00～11:30

2 場 所：北海道庁本庁舎5階 共用会議室

3 出席者：(委員) 小内（純子）小部会長、荒川委員、大下委員、小内（透）委員、
角委員、櫻井委員、中澤委員、羽深委員、林委員、吉岡委員
(事務局) 靄原室長、中谷主幹、山本主事

4 概要

【開会】

【小部会長挨拶】

【各委員自己紹介】

【事務局自己紹介】

【議事】

(1) 道史編さん体制と刊行計画

- ・道史編さん委員会の組織、道史の構成、全体の編さんスケジュールについて確認。

(2) 社会・文化小部会の編さんスケジュール

- ・当面の作業としては、資料収集がメインとなることを確認。

(3) 分野構成案と資料編のスタイル

- ・企画編集部会で資料編のモデルとすることになった「山口県史」資料編の構成例を紹介し、資料掲載数や頁数の各自の大まかな分量を確認。

(4) 編さん作業の進め方について

- ・事務局から、現在手がけている道新の見出しの採取と基準について説明。
- ・事務局から、最近定めた資料調査や道の現用公文書の閲覧の規定について説明。

(5) 今後の予定

- ・次回は来年3月に小部会の開催を予定。また資料10のとおり今後のスケジュールを確認。

【閉会】

平成30年度第2回社会・文化小部会開催結果概要

- 1 日時：平成31年3月13日（水）10:00～11:45
- 2 場所：北海道庁旧本庁舎（赤れんが庁舎）1階 5号会議室
- 3 出席者：（委員）小内（純子）小部会長、荒川委員、小川委員、大下委員、角委員
小内（透）委員、中澤委員、羽深委員、吉岡委員
（事務局）靄原室長、中谷主幹、伊藤主査、山本主事

4. 概要

【開会】

【小部会長挨拶】（小内小部会長）

【議事】

（1）各委員の進捗状況報告と今後の調査の進め方について

- ・各委員から資料1をもとにこれまでの資料調査の進捗状況と今後の方針について報告があった。
- ・小川委員からは、別紙資料を基に、アイヌ関係の今後の収集資料の構想発表があった。
- ・上記の報告に対して、出席委員からそれぞれ質疑・意見があった。

（2）今後のスケジュールについて

- ・資料2のと通りのスケジュールで進めていくことを確認。

（3）その他

- ・事務局から、林委員の要望で新たに障害者運動を担当する調査研究協力委員として、日本医療大学保健医療学部の松本教授を任命したことが報告された。
- ・桑原編集長から民衆史運動（資料掘り起こし運動）を執筆項目として追加すべきとの提案に対し、小部会として、了承した。

【閉会】